

令和7年3月定例会 教 育 長 報 告

行 事 表	
2月18日(火)	第2回能代市立小・中学校事務共同実施推進協議会 (二ツ井町庁舎 庁議室)
2月19日(水)	第3回教育長面接：県教育委員会（山本地域振興局）
2月20日(木)	第2回能代市奨学選考委員会（本庁舎 会議室8）
2月21日(金)	能代市青少年問題協議会（書面会議）
〃	教育委員会臨時会（二ツ井町庁舎 庁議室）
2月25日(火)	市議会定例会（～3月24日 本庁舎 議場）
3月 9日(日)	中学校卒業式（能代第二中学校）
3月11日(火)	小学校卒業式（淳城西小学校）
3月18日(火)	教育委員会臨時会（二ツ井町庁舎 庁議室）
3月21日(金)	市制施行記念能代市表彰式（能代市文化会館）
3月27日(木)	豊島区教育連携協定覚書セレモニー（二ツ井町庁舎 庁議室 オンライン）
〃	教育委員会定例会（本庁舎 会議室9・10）
3月31日(月)	退職者辞令交付式（本庁舎 大会議室）
4月 1日(火)	教育委員会職員辞令交付式（本庁舎 会議室5）
4月 2日(水)	令和7年度転入等校長・教頭面談（二ツ井町庁舎 庁議室）
4月 8日(火)	令和7年度能代市校長会総会（淳城南小学校）
〃	令和7年度能代山本教育研究会総会（能代山本広域交流センター）
4月10日(木)	令和7年度能代市小・中学校教頭会総会（二ツ井町庁舎 大会議室）
4月15日(火)	令和7年度能代市山本郡教頭会総会（能代山本広域交流センター）
4月17日(木)	第76回東北都市教育長協議会定期総会、研修会 (～18日 岩手県花巻市)
4月24日(木)	教育委員会定例会（二ツ井町庁舎 大会議室）

議案第 16 号

能代市学校医の委嘱について

学校保健安全法（昭和 33 年法律第 56 号）第 23 条第 3 項の規定に基づき、能代市学校医を次のように委嘱する。

令和 7 年 3 月 27 日提出

能代市教育委員会教育長 高 橋 誠 也

能代市学校医名簿

委嘱年月日 令和 7 年 4 月 1 日

学 校 名	学 校 医 名	備 考
第四小学校、向能代小学校	三 原 国 昭	新 任
第五小学校	三 田 亜紀子	新 任
二ツ井小学校	金 田 英 樹	新 任

提案理由

能代市学校医である江戸雅孝、三田重人、金田修身の退任に伴い、新たに委嘱しようとするものである。

議案第 17 号

能代市地域学校協働活動推進員の委嘱について

能代市地域学校協働活動推進員等設置要綱（令和 2 年能代市教育委員会告示第 11 号）第 4 条の規定に基づき、能代市地域学校協働活動推進員を別紙のとおり委嘱する。

令和 7 年 3 月 27 日提出

能代市教育委員会教育長 高 橋 誠 也

提案理由

能代市地域学校協働活動推進員を新たに委嘱しようとするものである。

能代市地域学校協働活動推進員名簿

任 期 令和7年4月 1日から
令和8年3月31日まで

学校区	氏 名	備 考
淳城西小学校区	千 羽 正 人	再 任
淳城南小学校区	大 山 透	新 任
第四小学校区	永 塚 光 子	再 任
	石 井 清 樹	新 任
第五小学校区	戸 松 郁 子	再 任
向能代小学校区	大 高 幸 美	再 任
浅内小学校区	保 坂 智 之	再 任
二ツ井小学校区	松 橋 亨	新 任
能代第一中学校区	千 羽 正 人	再 任
能代第二中学校区	浅 野 満	新 任
能代東中学校区	高 橋 真 也	再 任
東雲中学校区	板 倉 和 也	再 任
能代南中学校区	平 川 真 実	再 任
二ツ井中学校区	松 橋 亨	新 任

議案第 18 号

能代市スポーツ推進委員の委嘱について

スポーツ基本法（平成 23 年法律第 78 号）第 32 条第 1 項の規定に基づき、能代市スポーツ推進委員を別紙のとおり委嘱する。

令和 7 年 3 月 27 日提出

能代市教育委員会教育長 高 橋 誠 也

提案理由

能代市スポーツ推進委員を新たに委嘱しようとするものである。

能代市スポーツ推進委員名簿

任期 令和7年4月 1日から

令和9年3月31日まで

No.	氏 名	住 所	備 考
1	井 上 昇	能代地区	再 任
2	菊 池 敏 幸	二ツ井地区	再 任
3	佐 藤 恵美子	二ツ井地区	再 任
4	佐 藤 一 博	能代地区	再 任
5	鈴 木 敬 一	能代地区	再 任
6	工 藤 達 美	能代地区	再 任
7	大 塚 久美子	能代地区	再 任
8	大 瀧 賢 一	能代地区	再 任
9	川 尻 邦 子	能代地区	再 任
10	鎌 田 裕 美	能代地区	再 任
11	大 塚 孝 彦	能代地区	再 任
12	鈴 木 絵 里	能代地区	再 任
13	大郷司 有 香	二ツ井地区	再 任
14	浅 野 光 江	能代地区	再 任
15	飯 坂 信 悦	能代地区	再 任
16	佐 藤 義 則	二ツ井地区	再 任
17	長 嶺 薫	能代地区	新 任
18	安 井 径	二ツ井地区	新 任

議案第 19 号

令和 7 年度能代市学校教育指導の重点について

令和 7 年度能代市学校教育指導の重点を別紙のとおり定める。

令和 7 年 3 月 27 日提出

能代市教育委員会教育長 高 橋 誠 也

提案理由

令和 7 年度能代市学校教育指導の重点を新たに定めようとするものである。

令和7年度

能代市の学校教育



学び合う 感謝と思いやりにあふれる



のまち 能代



学校教育の基本方針

豊かな人間性を育む学校教育の推進

◆学校教育の重点◆

- 一 主体的で創意ある
教育活動の推進
- 二 心豊かな人間性と
健やかな体を育む
教育の推進
- 三 基礎学力の向上を図る
学習指導
- 四 幅広い識見と
実践的指導力を培う
教職員の研修
- 五 安全・安心な
学校教育の充実と
環境の整備

能代市教育委員会

学校教育の重点

1 主体的で創意ある教育活動の推進

重 点	実践事項
(1) カリキュラム・マネジメントの視点を基に、ふるさと教育・キャリア教育の趣旨を生かした教育活動の推進 (2) 地域と学校が一体となる学校運営協議会（コミュニティ・スクール）制度の構築	① 郷土の自然・歴史や伝統・文化・産業等を生かした教育課程の編成 ② 将来の社会的・職業的自立を念頭においた、全体計画や年間計画の工夫・改善 ① 学校・家庭・地域の連携・協働による、子どもたちの成長を支える活動の推進 ② 小・中の系統性を踏まえた、地域全体で子どもを育てる体制づくり

2 心豊かな人間性と健やかな体を育む教育の推進

重 点	実践事項
(1) 自己実現を支える生徒指導 (2) 豊かな心と健やかな体の育成	① 不登校・いじめ等の未然防止、早期発見、即時対応の徹底 ② 共感的な人間関係を育む学級経営の充実 ③ 校内体制の機能化（組織的かつ迅速な対応） ① 教育活動全体を通じて行う、組織的で一貫した道徳教育の推進 ② 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育の構築 ③ 健康的な生活習慣の定着や体力向上を図る、継続的な指導の充実

3 基礎学力の向上を図る学習指導

重 点	実践事項
(1) 「秋田の探究型授業」を基軸とした授業づくり	① 秋田の探究型授業の基本プロセスを機能させた授業づくりの充実 ② 思考を広げ深められる、言語活動の効果的な位置付け ③ 思考・表現ツールとしてのICT機器の活用 ④ 諸調査の結果分析に基づいた指導方法の工夫改善

4 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修

重 点	実践事項
(1) 学校を活性化させるための校内研修 (2) 今日的な教育課題に対応する市教委研修	① 教科・学年の枠を超えた研究の充実 ② 外部指導者の活用による客観的な検証機会の充実 ① 学校のニーズに応じた学校訪問による、学校組織活性化研修支援 ② 教師一人一人のキャリアステージに応じた資質向上研修の充実

5 安全・安心な学校教育の充実と環境の整備

重 点	実践事項
(1) 学校安全に関する指導の推進と学校施設の適切な維持管理	① 自分の命は自分で守ることができる児童生徒の育成を目指す地域と連携した安全教育の充実 ② PDCAサイクルを機能させた安全管理体制の充実

R7 能代市の授業づくり【本年度の重点】

【「秋田の探究型授業」の基本プロセス】

学習の見通しをもつ



自分の考えをもつ



集団(ペア・グループ・学級)で話し合う



学習内容や方法を振り返る



主体的・対話的で深い学びを実現する授業展開の工夫

- ◇児童生徒の声を生かしながら、主体的な活動を促すような課題を設定するとともに、課題に対する予想や見通しをもつ時間を設定する。
- ◇机間指導やICTの活用等により、児童生徒がねらいを達成できる学び合いになるよう、コーディネートする。
- ◇育てたい資質・能力や変容を児童生徒が自覚できるよう、自分の言葉で振り返る活動を取り入れる。

デジタルとアナログのベストミックスを考慮した授業づくり

R7 能代市の特色ある取組

1 カリキュラム・マネジメント3か年計画

学校経営目標達成に向けて、全教職員が学校経営に参画意識をもって、児童生徒の資質・能力を育成

年 度	内 容
令和5年度	- 全教科等の指導案に育てたい資質・能力及び関連する単元等を明記 - 令和4年度に実践校が作成した単元配列表を基に、各校全学年において単元配列表を作成
令和6年度	教務・研究主任会において、単元配列表を持ち寄り、加除・修正を実施
令和7年度	- 全教職員が学校教育目標のグランドデザインづくりに参画 - 育てたい資質・能力に沿って学年部及び各教科等の重点を設定 - 全教育活動においてPDCAサイクルの確立 - 校長会・教頭会において、カリキュラム・マネジメントについての協議の場を設置

2 「自立」に向けた系統的な特別支援教育



就学前 → 小学校 → 中学校 → 自立

◆能代市特別支援教育統括コーディネーター・能代市特別支援教育アドバイザー

5歳児親子相談や幼児通級指導教室、特別支援教室等の運用状況を把握し、自立に必要な指導方法や支援の在り方等について、教員や指導員・支援員に助言する。

◆特別支援教育指導員・特別支援教育支援員

支援を必要とする児童生徒への学習支援・生活支援をする。

◆5歳児親子相談

発達検査を促す。

◆幼児通級指導教室(すてっぷ)

入学前に小集団で指導する。

◆特別支援教室(ステップアップ)

小集団での授業を通して小学校生活への適応を図る。

◆移動通級指導教室(県)

系統的な特別支援教育システムの有効活用を図る。

3 幼児期及び幼保小接続期の教育の質的向上を図るための「幼児教育・保育アドバイザー兼架け橋期コーディネーター(2名)」の配置



- ・「モデル地区(五小・ニツ井小)」の取組を生かした全小学校区での架け橋期のカリキュラム作成・活用・改善の支援
- ・就学前施設及び小学校への巡回訪問・助言等
- ・就学前施設及び小学校職員を対象とした合同研修会の開催
- ・県との連携体制の強化

架け橋プログラムの実施

能代市教育委員会の学校訪問

秋田県教育委員会と連動したPDCA

所長訪問 5月下旬～7月上旬	○各校の課題を明らかにし、授業改善に向けた目標を具体的に設定するために、北教育事務所長・山本出張所長の学校訪問に、市教委も同行し、学校とともに指導を受けます。
要請訪問 (希望校へ)	◎各校の研修の在り方や授業改善の取組について、指導主事が訪問して指導助言します。市教委では、指導案検討会から共に授業研究に取り組んだり、事後研究会をコーディネートしたりすることも可能です。
市教委訪問 9月下旬～11月下旬	◎各校の経営方針の実践と授業改善等の成果を確認するために、教育長・学校教育課長・参事・指導主事が訪問し、全職員の授業を参観し、助言します。

令和7年度 年間事業予定

学校教育課・教育研究所関連事業			
月	主催・所管事業	月	主催・所管事業
4月	- 各交付式での情報交換・研修 - 全国学力・学習状況調査(17日) - 教務・研究主任協議会(25日)	8月	- 心の教室相談員情報交換会(1日) - 学校図書支援員研修会(4日) - 市初任研Ⅱ(20日) - 外国語活動・外国語研修会(21日)
5月	- 北教育事務所長訪問(～7月上旬) - 第1回Q-Uアンケート - 第1回幼保小連携推進協議会(13日) - 市初任研Ⅰ(21日) - 読書活動推進研修会(22日) 5歳児親子相談(～2月) - 幼児通級指導教室(～3月)	9月	- 市教委訪問(～11月下旬) - 特別支援教育指導員・支援員研修会(25日)
6月	- 講師等研修会(3日) - 第1回ICT推進研修会(18日) - 不登校に関する研修会(19日) - 特別支援教育担任等研修会(20日)	11月	- 能代市教育支援委員会(11日) - 第2回幼保小連携推進協議会(12日) - 未来を創る能代っ子ふるさと会議(17日)
7月	- 社会科授業力向上研修会(8日) - 児童生徒支援アドバイザー等訪問(長期休業中)	12月	- 県学習状況調査(小学校：3日、中学校：4日) - いじめ問題対策連絡協議会(8日) - 第2回Q-Uアンケート
通年	- 教育支援センター「はまなす広場」 - 教育相談「風の子相談」(電話・メール・面談) - 不登校保護者会(月1回)	1月	事務指導(中学校)
		2月	- 教育研究所運営協議会(6日) - 第2回ICT推進研修会(9日) 「はまなす広場」運営協議会(17日) - 第3回幼保小連携推進協議会(18日)
		毎週(月)～(金)	9:00～15:00
		毎週(月)～(金)	9:30～15:00
		第3木曜	15:30～17:30

*開催期日は変更になる場合があります。

能代市教育委員会

TEL 0185-73-5178 FAX 0185-73-6459 〒018-3192 能代市ニツ井町字上台1-1

〈表紙の写真提供〉 左：能代東中学校 中央：向能代小学校 右：ニツ井小学校

報告第1号

令和7年度能代市社会教育施設運営方針について

令和7年度能代市社会教育施設運営方針を、別紙のとおり定めたので報告する。

令和7年3月27日提出

能代市教育委員会教育長 高 橋 誠 也

令和7年度能代市社会教育施設運営方針

1 令和7年度能代市公民館運営方針

(1) 基本方針

公民館は、社会教育の拠点施設として機能の充実を図り、各種の講座を企画・運営し、少子高齢化や価値観の多様化に対応した学びの機会の提供に努めるとともに、活力ある地域づくりのために、市民が主体となる学習活動を支援し、だれでも気軽に集い、学びと活動をつなげる環境づくりに努める。

(2) 重点目標

- ①さまざまな世代に対し、多様な学習ニーズやライフステージに応じた多様な学びの機会を提供する。
- ②自主学習グループ等をはじめとした市民の自主的な活動を支援し、学びの成果を地域活動に活かす場や機会の提供に努めるとともに、社会への実践的な参画を促進する。
- ③学校・家庭・地域が連携・協働し、次世代を担う子どもたちを育む地域づくりにつなげる、学びの機会を提供する。
- ④指定管理者と連携し、市民へのサービス向上を図るとともに、施設の環境整備に努める。

2 令和7年度能代市文化会館運営方針

(1) 基本方針

文化会館は、市民の文化芸術の振興と福祉の増進を図るため、様々な分野の事業や文化行事を企画し、市民に優れた文化芸術の鑑賞機会を提供する。また、各種催物に広く開放し、市民の自主的な文化芸術活動の奨励に努め、地域の活力を育む文化の拠点として運営する。

(2) 重点目標

- ①主催事業及び共催事業の実施により、市民への優れた文化芸術の鑑賞機会の提供に積極的に取り組む。
- ②市民参加型事業、会場提供型事業等の実施により、地域の文化芸術の振興に努める。

- ③情報化に対応した広報活動により、市民の文化芸術への興味・関心を喚起するとともに、施設の利用促進を図る。
- ④指定管理者と連携し、市民へのサービス向上を図るとともに、施設の環境整備に努める。

3 令和7年度能代市勤労青少年ホーム運営方針

(1) 基本方針

勤労青少年ホームは、勤労青少年が自信と意欲を持ち、自立的な職業生活の実現を目指すとともに、その自主性や創造性を培う場として、スポーツ、文化等のサークル活動を支援し、多様な学習ニーズに応じた学びと活動をつなげる環境づくりに努める。

(2) 重点目標

- ①勤労青少年の主体的な活動や地域活動を促進するため、グループ・サークル活動等の支援に努めるとともに、地域づくり等への参画を支援する。
- ②勤労青少年の主体的な学びと活動をつなげる環境を提供し、利用の拡大と交流の促進に努める。
- ③生涯学習関連施設として、だれでも気軽に集い、交流できる学びの場を提供し、生涯学習の推進を図る。
- ④指定管理者と連携し、市民へのサービス向上を図るとともに、施設の環境整備に努める。

4 令和7年度能代市働く婦人の家運営方針

(1) 基本方針

働く婦人の家は、女性が社会へ積極的に参加できるよう活動の場を提供するとともに、その活動を支援する。

男女が共に持てる力を十分発揮できる男女共同参画社会を目指し、多様なニーズに応じた講座をはじめ、女性の学習活動意欲を高め、学びと活動をつなげる環境づくりに努める。

(2) 重点目標

- ①多様な学習ニーズに応じた講座の開設に努める。
- ②利用グループの育成と利用グループ連絡協議会への支援に努める。

- ③生涯学習関連施設として、だれでも気軽に集い、交流できる学びの場を提供し、生涯学習の推進を図る。
- ④指定管理者と連携し、市民へのサービス向上を図るとともに、施設の環境整備に努める。

5 令和7年度能代市立図書館運営方針

(1) 基本方針

市立図書館は、市民の学習要求に応えるため、必要な資料を広く収集・整理・提供する。また、生涯にわたる学びや生活に役立ち、利用しやすい情報の拠点となるよう努める。

さらに、読書活動を推進するため、家庭や地域、学校等との連携を図るとともに、各種事業を展開する。

(2) 重点目標

- ①図書館の収集方針に基づいた魅力ある蔵書づくりを推進する。
- ②他の公共図書館や図書館ボランティア等とも連携し、多様な学びの機会を提供するとともに、読書活動の拡充に努める。
- ③子どもの読書活動を推進するため、家庭や地域、学校等との連携を図り、子どもが気軽に読書に親しむための各種活動や児童図書の実充に努める。
- ④能代図書館・二ツ井図書館の連携を深めるとともに、市民へのサービス向上や利用しやすい施設環境の整備に努める。

6 令和7年度能代市子ども館運営方針

(1) 基本方針

子ども館は、子どもの科学知識の普及を図るため、プラネタリウムや「宇宙」をテーマにした体験型展示、ロケット・衛星模型等の展示物を活用するとともに、各種事業において実験・観察、工作等に取り組むことにより、宇宙や科学、地域の自然環境等に対する関心や理解を深め、遊びや体験活動を通して心豊かな子どもの育成に努める。

また、学校や各種団体、各機関との連携を深めながら、子どもたちはもとより、家族や地域の人たちが広く参加し、夢や希望をもって楽しく科学を学べる施設づくりに努める。

(2) 重点目標

- ①科学に関連した講座や体験活動を通して子どもたちの科学に対する興味・関心を高めるとともに、学びや遊びの中で人と関わり、探究心や創造性を育むための環境づくりに努める。
- ②認定こども園・保育所、学校、諸団体、関係機関との連携を密にし、理科教育の拠点施設として、機能の充実を図り、活用促進に努める。
- ③プラネタリウムや宇宙関連の展示物の活用を工夫するとともに、JAXA（宇宙航空研究開発機構）や能代ロケット実験場等との連携を図り、子どもと大人がともに学び合える事業や講座の充実に努める。
- ④愛称「サイエンスパーク」やシンボルマーク、キャラクター「ノシロン」等を活用して広報活動を積極的に推進し、利用の拡大に努める。
- ⑤利用者へのサービス向上を図るとともに、気軽に学び遊べる場として、安全・安心な施設の環境整備に努める。